



# 岩手県

## 「オンプレミス環境と

## クラウド環境をつなぐための

## システムとして重宝」



岩手県提供写真

岩手県では、2012年のグループウェア切替時に、アカウントデータ活用を目的に、ADMS製品（以下ADMS）を導入されました。2020年にはActive Directory（以下AD）と職員データとの紐づけにも活用され、2025年には新規に導入したMicrosoft 365製品、ファイルサーバ、LDAPサーバへの連携にもADMSの利用範囲を拡大されています。今回、長期間にわたり利活用いただいているADMSについて、導入経緯やその効果を岩手県ふるさと振興部科学・情報政策室の担当者に伺いました。

**業種**  
自治体

**ユーザー数**  
無制限ライセンス（7000ユーザー）

**URL**  
<https://www.pref.iwate.jp/>

### Point

- 経緯** グループウェアのサービスを新しく切替える際に、既存のグループウェアのアカウントデータの活用ができる製品を探していた。
- 導入** グループウェア提供企業から紹介されたのがきっかけで導入。その後、ADのアカウントを職員に紐づける要件やMicrosoft 365のアカウント作成の自動化要件が上がった際に、庁内ネットワーク及びシステム関連の受託業者から「ADMSはシステム間連携に強いサービス」と推奨を受け、範囲を広げて利用することになった。
- 効果** 利用システムと職員データベースの間にADMSが入ることで日々の円滑なシステム間連携が実現。またオンプレミス、クラウド環境をつなぐシステムとしても重宝している。さらにアカウントとライセンス付与の紐づけ処理の自動化によって、運用コストの低減にも寄与している。

### 岩手県 プロフィール

岩手県は、東北6県の中で最も広大な面積を誇り、その豊かな自然と歴史文化が魅力の県です。世界遺産に登録された平泉をはじめとする3つの歴史的遺産は、国内外から多くの観光客を惹きつけ、深い歴史と文化の厚みを感じさせます。北海道に次ぐ広大な県土を活かした農業・畜産業が盛んであり、三陸沖の豊かな漁場やリアス式海岸で育まれる昆布やワカメ、ホタテ、アワビなどの海産物も豊富です。これらの恵みは県内のみならず、日本全国の食文化を支える重要な資源となっています。

さらに、スポーツの分野でも岩手県は輝きを放っています。大谷翔平選手をはじめ、世界で活躍する多くのスポーツ選手を輩出しており、県民の誇りと地域の活力の源となっています。

岩手県は歴史・文化、豊かな自然資源、そしてスポーツの三つの魅力が融合した、訪れる人々に多彩な感動を提供する地域です。ぜひ一度、岩手の魅力を体感してみてください。

## 導入の背景について

2012年にグループウェアを新サービスへ切り替えました。その際切替前のグループウェアが持つアカウントデータの活用を望んでいたところ、導入予定のグループウェア提供企業からADMSの紹介がありました。こちらが求めていたことをADMSで実現できると判断し、具体的な検討へと話が進みました。

2020年にはADアカウントを職員に紐づける要件が起きました。

2025年にはMicrosoft 365の利用が開始されたのをきっかけに、アカウント作成方法の検討が始まりました。当庁のMicrosoft 365利用者は約7,000人おり、手動でアカウントを作成する対応は現実的ではないと考え、自動で作成できることが必須要件となりました。

## 製品決定理由

ADMSは初回導入から2回に渡り利用範囲を拡大しています。初回導入時は、グループウェアメーカーから紹介されたことが発端でした。グループウェアを新しく切り替える際に、切替前のグループウェアのアカウントデータが活用できることを要件としており、ADMSがその要件を満たしていたため採用を決定しました。

2020年には、ADとのアカウント連携要件が起り、その要件にもADMSが対応しており、利用を拡大させる形で採用を継続しました。

2025年のMicrosoft 365の利用開始に伴って浮上したアカウント作成自動化要件にもADMSはその機能を備えていたため、さらなる活用を決定しました。また、当県庁のシステム関連受託業者からもADMSが「システム間のアカウント連携に強い製品」と推奨されていたことも評価していました。

## 導入効果について

ADMSでアカウント管理の運用を開始してからは、職員の手を煩わすことなく円滑な自動化運用が実現でき、導入効果を感じています。また、オンプレミス環境とクラウド環境とのハイブリッド運用においてもADMSがそれをつなぐためのシステムとして機能しており、大変重宝しています。さらに、Microsoft 365ライセンスの付与管理においても、アカウントとライセンスの紐づけ処理の自動化が実現し、運用コストを低減させることにつながられたことにも効果を実感しています。

## 弊社サポートについて

導入作業では、タイトなスケジュール依頼にも、着実なプロジェクト進行で応えてくださいました。そのおかげで全体スケジュールを滞りなく進めることができ、感謝しています。また、こちらが求めた要件に対して、できるだけ忠実に実現する方法を丁寧に考え提案くださったことも大変ありがたく感じました。

ジインズ社は、受けた要望に対して常に柔軟に対応する姿勢で臨んでいただけていると感じました。そのような姿勢がジインズ社の最大の魅力だと感じています。サポートフェーズに入ってからでも問合せへの対応が比較的早く、的確な回答をいただけている印象です。

## 弊社への要望

ADMSの次期バージョンで連携対応すると聞いているIDaaS製品は、当庁で既に利用しているため、今後そのサービスへの連携によって、更なる利便性向上にADMSが活用できると期待しています。

クラウドサービスの利用は今後も増える予想しています。サービスの利用において、組織として運用していくために、まず検討しなければならないことは「ユーザー（アカウント）の管理＝作成・変更・削除」方法です。アカウント管理が実現できる製品であるADMSには、今後も時代の技術潮流に合わせた機能の強化や汎用的なサービスへの連携が追加されていくことを期待しています。